

Study Abroad Case 4

自分で知ろうと、やってみようと行動すれば 新しい何かを発見できる 丸山 美帆

私はアメリカ、ユタ州のユタ大学に1年間留学しました。この大学を選んだ理由の一つは、なるべく日本人が少ない場所だったからです。高校時代から留学を志したきっかけは、「**日本では一生できない経験がしたい**」という好奇心。いざ留学を前に、勉強もそれ以外も全力で取り組むと決めて旅立ちました。

実際に、ユタでは毎日が驚きと発見の連続でした。会う人、読む本、見るもの、聞くことの全てを面白いと感じました。勉強の傍らで、私は**地元の小学校で1年間働いたり、国立公園へキャンプに行ったり、研究ツアーで他都市へ行ったりと何にでも首をつっこむようにしました**。子供たちと一緒に身振り手振りで料理をしたこと。国立公園で地平線まで続く溪谷を見たこと。そしてこれらの挑戦を通して、**世界中から来た人たちと友達になったことは一生の宝物**です。

一方で、議論に参加するには1か月も必要でしたし、課題も人の倍の時間がかかりました。小さな失敗は国立公園で見た星の数ほどあります。しかし、私は友達に恵まれていました。優しいルームメイト達、悩みを聞いてくれた留学生仲間、そして助けられるだけでなく一緒に勉強できるようにと、頑張るきっかけをくれたクラスの友達に支えられ、焦ることはありませんでした。そして1年の最後にはGPA3.9という成績をとることができました。

この留学を通して私は、**新しい考えや価値観を受け入れ、尊重することができるようになりました**。今まで想像もつかなかったような景色を見て、考えられなかったような価値観を知って、その経験が私を成長させてくれました。**自分で知ろうと、やってみようと行動すれば新しい何かを発見できる**。それが視野を広げるといことだと思います。これからの大学生活、そして社会人になっても、自ら挑戦して経験を積むことを大切にしていきたいです。



Personal Data 丸山 美帆 (まるやま みほ)

留学先：ユタ大学 (米国) EX プログラム

留学期間：2014年9月～2015年7月 (留学時の学年：3年生)

ゼミナール：環境及び資源経済学研究 (赤尾健一ゼミナール) 所属